

## 令和7年 第9回南九州市農業委員会 議事録

1. 日 時 令和7年9月26日（金） 午後2時00分～

2. 場 所 颯娃保健センター

### 3. 出席委員(19人)

会 長	1 番	本木下 裕一			
会長職務代理	2 番	大隣 初美			
委 員	3 番	月野 貴大	4 番	吉崎 久男	5 番 東垂水 勝秀
	6 番	松永 克生	7 番	高江 京子	8 番 永山 明美
	9 番	福元 幸志	10 番	松藺 勝郎	11 番 下之門 信洋
	12 番	山下 信一郎	13 番	大坪 幸博	14 番 桑代 純一
	15 番	栢川 明子	16 番	松村 孝徳	17 番 池田 慎
	18 番	梶山 俊孝	19 番	宮原 俊郎	

### 4. 欠席委員( 人)

### 5. 議 題

- 開会の宣言
- 会長諸般の報告
- 事務局長諸般の報告
- 開議の宣告
- 日 程 第 1 会議録署名委員の指名
- 日 程 第 2 会期決定の件
- 日 程 第 3 議案審議に係る通知事案について
- 日 程 第 4 農業経営改善計画認定者の報告について
- 日 程 第 5 議案第55号 農業振興地域整備計画変更（案）の意見決定について
- 日 程 第 6 議案第56号 農地法第3条許可申請に対する許可について
- 日 程 第 7 議案第57号 農地法第5条許可申請に対する許可について
- 日 程 第 8 議案第58号 農地中間管理事業に係る農用地利用集積等促進計画に対する意見決定について
- 日 程 第 9 議案第59号 非農地証明願について
- 日 程 第 10 その他
- 閉議の宣告
- 閉会の宣言

## 6. 農業委員会事務局職員

事務局長 田原 一豊  
農政係長 折尾 武志 赤崎 隆明  
農地係長 神村 洋一 小松 綾華 中村 智治

## 7. 会議の概要

開 会 午後 2 時 00 分

事務局長 御起立願います。

「一同 礼」

今月の農業委員会憲章唱和は、永山委員になりますのでよろしくお願いいたします。

(農業委員会憲章 唱和)

御着席願います。

議 長 ただいまの出席人員は 19 名で、会議の定足数に達しております。

これより令和 7 年第 9 回 南九州市農業委員会総会を開会いたします。

議 長 まず会長諸般の報告でございますが、別添 1 の主要行事経過及び予定をご覧いただきたいと思います。(諸般の報告をおこなう。)

議 長 続きまして事務局長諸般の報告を求めます。

事務局長 (諸般の報告をおこなう。)

議 長 只今の、会長・事務局長諸般の報告に対しまして、質問、御意見はございませんか。

委 員 「なし」の声あり

議 長 ないようですので、これより本日の会議を開きます。

会議録作成に必要ですので、質疑、意見等発言を求める委員は、挙手のうえ、自分の議席番号を言ってから発言してください。

議 長 日程第 1 「会議録署名委員の指名」を行います。

会議録署名委員は会議規則第 19 条第 2 項の規定により、3 番月野委員、4 番吉崎委員を指名し、会議書記に農政係長を指名いたします。

議 長 日程第 2 「会期決定の件」を議題に供します。

お諮りします。本会議の会期は、本日 9 月 26 日の 1 日間で御異議ございませんか。

委 員 「異議なし」の声あり

議 長 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日限りの 1 日間とすることに決定しました。

議 長 資料 2 頁の日程第 3 「議案審議に係る通知事案について」事務局の説明を求めます。

農地係長 説明致します。3 頁からでございます。

農用地利用集積等促進計画の合意解約による通知事案が 61 件ございまし

た。

貸人は穎娃町〇〇の〇〇〇〇さん、借人は同じく穎娃町〇〇の〇〇〇〇さん ほかです。貸人主導によるもの 29 件、借人主導によるもの 32 件です。

地目の内訳は、田 17 筆 12,225 m<sup>2</sup>、畑 103 筆 164,130 m<sup>2</sup>、山林等（現況畑）8 筆 10,936 m<sup>2</sup>の合計 128 筆 187,291 m<sup>2</sup>で、穎娃地域 27 件、知覧地域 28 件、川辺地域 6 件です。

以上で説明を終わります。

議 長  
委 員  
議 長

只今の事案について、質疑はありませんか。

「なし」の声あり

質疑なしと認めます。

只今の案件につきましては、通知事案でございますので、御了承いただきたいと思います。

議 長  
農政係長

続きまして、資料 10 頁の日程第 4「農業経営改善計画認定者の報告について」を議題とします。事務局に説明を求めます。

説明致します。資料は 11 頁からです。

今回は、内容変更 1 件、更新 11 件です。内容変更につきましては、農業改善の方向概要で碾茶、抹茶事業の追加です。

再認定の内訳としては、穎娃地域 10 件、知覧地域 1 件で営農類型としては茶専業 4 件、複合経営 7 件です。

以上で説明を終わります。

議 長  
委 員  
議 長

只今事務局から報告のありました件について、質問はございませんか。

「なし」の声あり

質問なしと認めます。

只今の案件につきましても、報告事案でございますので、御了承いただきたいと思います。

議 長

次に、資料 15 頁の日程第 5 議案第 55 号「農業振興地域整備計画変更（案）の意見決定について」を議題とします。

現地調査員の報告をお願いいたします。〇〇委員お願いします。

〇番委員

報告いたします。

16 頁の審議番号 1 番です。関連資料は 17 頁から 21 頁になります。

申請人は、知覧町〇〇の〇〇〇〇さんです。

申請地は、知覧町〇〇字〇〇〇〇〇〇番の畑 1,885 m<sup>2</sup>で〇〇自治会近くに位置します。申請人は市内で〇〇を営む〇〇で、〇〇〇〇が不足するため、申請地を取得し、〇〇として利用するため、農用地区域から除外するものです。

申請地の北側、東側は市道に、西側、南側は畑に接しています。最高 0.4 m 程度の盛土を行いますが、緩衝地を設けるので、土砂流出の恐れはなく、雨水は道路側溝へ放流させます。日照・通風等については、駐車場として利

用するので周囲の農地等へ影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

以上で報告を終わります。

議 長  
農地係長

ここで事務局に補足がありましたら説明を求めます。

補足説明いたします。

審議番号 1 番については、農用地区域からの除外となっています。

農用地区域の外周部に接し、農地の集団化・農作業効率化に支障はないこと、用排水路の機能低下はないこと、土地改良事業完了から 30 年以上経過している地区であることから、除外の要件を満たしていると判断されます。

訂正がございます。資料の 16 頁の変更理由の下から 3 行目の「取得し」を「借り受けて」になります。

以上で補足説明を終わります。

議 長

只今、説明のありました案件について、審議をお願いいたします。

質問、御意見はございませんか。

委 員  
議 長

「なし」の声あり

質問、御意見がありませんので、採決いたします。

議案第 55 号「農業振興地域整備計画変更（案）について」は、申請理由からしてやむを得ない変更として適当意見とすることに御異議ございませんか。

委 員  
議 長

「異議なし」の声あり

異議なしと認めます。

よって、議案第 55 号については、申請どおり適当意見とすることに決定いたします。

議 長

次に、資料 22 頁の日程第 6 議案第 56 号「農地法第 3 条許可申請に対する許可について」を議題とします。

事務局に提案説明を求めます。

農 地 係

それでは、説明いたします。23 頁～27 頁の 3 条所有権移転 11 件でございます。

譲渡人は颯娃町〇〇の〇〇〇〇さんで、譲受人は颯娃町〇〇の〇〇〇〇さん ほかの申請です。

地目の内訳は、田が 3 筆 1,276 m<sup>2</sup>、畑が 25 筆 32,936.8 m<sup>2</sup>、合計 28 筆 34,212.8 m<sup>2</sup>です。申請理由につきましては、規模拡大 7 件、相手方の要望 3 件、自家菜園開始 1 件です。

10 a 当たりの取引価格につきましては、畑が 30 千円から 300 千円程度です。10 a 当たりの取引価格の平均につきましては、201 千円でございます。

地域別では、颯娃地域 7 件、知覧地域 3 件、川辺地域 1 件です。

農地法第 3 条第 2 項各号に定める許可基準に抵触しないかの判断につきましては、申請書及び現地調査、必要に応じて申請者への聞き取りにより審査し、許可要件を全て満たしていると認められます。

ご審議方よろしく申し上げます。

議 長 只今、説明のありました案件について審議をお願いします。

質問、御意見はございませんか。

委 員 「なし」の声あり

議 長 質問、御意見がありませんので、採決いたします。

議案第 56 号「農地法第 3 条許可申請に対する許可について」は、申請どおり許可することに御異議ございませんか。

委 員 「異議なし」の声あり

議 長 異議なしと認めます。

よって、議案第 56 号 の全案件について、申請どおり許可することに決定いたします。

議 長 次に、資料 28 頁の日程第 7 議案第 57 号「農地法第 5 条許可申請に対する許可について」を議題といたします。

まず、現地調査員から報告をお願いします。〇〇委員をお願いします。

〇番委員 報告いたします。

29 頁の審議番号 1 番です。関連資料は 31 頁から 35 頁になります。

譲受人は、知覧町〇〇の〇〇〇〇さんです。譲渡人は、同じく知覧町〇〇の〇〇〇〇さんです。

申請地は、知覧町〇〇字〇〇〇〇〇〇番の畑 130 m<sup>2</sup>で〇〇自治会に位置します。

申請人は市内で〇〇を営む〇〇で、平成〇年に〇〇〇〇について、農地法の許可を得ていなかったことが分かり、追認で許可を得ようとするものです。

申請地の北側は県道に、東側は宅地に、西側・南側は畑に接しています。現状のまま利用しているので、土砂流出の恐れはなく、雨水は道路側溝へ放流しています。汚水・生活雑排水は合併浄化槽を通して、道路側溝へ放流しています。日照・通風等については、建物の高さを加減しているので周囲の農地等へ影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

続きまして、29 頁の審議番号 2 番です。関連資料は 36 頁から 40 頁になります。

譲受人は、知覧町〇〇の〇〇〇〇さんです。譲渡人は、同じく知覧町〇〇の〇〇〇〇さんです。

申請地は、知覧町〇〇字〇〇〇〇〇〇番の畑 186 m<sup>2</sup>で〇〇自治会に位置します。

申請人は市内で〇〇を営む〇〇で、昭和〇年に申請地南側の隣接地に〇〇を建築した時から、〇〇と県道との車両用の通路として使用していたものです。農地法の許可を得ていなかったことが分かり、追認で許可を得ようとするものです。

申請地の北側は県道に、西側は畑に、東側は畑及び宅地に、南側は宅地に

接しています。現状のまま利用しているので、土砂流出の恐れはなく、雨水は道路側溝へ放流しています。日照・通風等については、通路として利用しているので周囲の農地等へ影響を及ぼす恐れはないと判断しました。

以上で報告を終わります。

議 長  
○番委員

次に、〇〇委員お願いします。

報告いたします。

30 分の審議番号 3 番です。関連資料は 41 分から 45 分になります。

借り人は、知覧町〇〇の〇〇〇〇さんです。貸し人は、鹿児島市の〇〇〇〇さんです。

申請地は、知覧町〇〇字〇〇〇〇〇〇番の畑 1,885 m<sup>2</sup>で〇〇自治会近くに位置します。

申請理由、被害防除対策等につきましては、先ほど農業振興地域整備計画変更で報告しましたので省略します。

以上で報告を終わります。

議 長  
農地係長

ここで、事務局に補足がありましたら説明を求めます。

補足説明いたします。

一般基準の資力及び信用、遅滞なく申請用途に供することの確実性並びに周辺の農地に係る営農条件に支障を生ずるおそれの有無につきましては、申請内容、添付書類及び現地調査により確認されていますので、適当であると判断されます。

審議番号 1 番の農地区分としては、周囲に概ね 10ha 以上の一団の農地があり、良好な営農条件を備えている区域内にある農地であることから、第 1 種農地と判断されます。今回の転用目的となっていますのは、〇〇〇〇ですが、農地法における分類としましては、「農畜産物販売施設」に分類されますので、第 1 種農地の不許可の例外である『農業用施設等』に区分されます。

また、第 1 種農地に区分されるため、県常設審議委員会の意見聴取となります。

続きまして、審議番号 2 番の農地区分としては、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地に該当することから、第 2 種農地の『その他の農地』に区分されます。

続きまして、審議番号 3 番の農地区分としては、市の農業振興地域整備計画に定められた農用地区域内にある農地ですが、今回農用地区域から除外後は、周囲に概ね 10ha 以上の一団の農地があり、良好な営農条件を備えている区域内にある農地であることから、第 1 種農地と判断されます。

今回の転用目的となっていますのは、〇〇〇〇になっておりますが、〇〇等に隣接し一体となって利用する場合以外の〇〇〇〇について、農業用施設に該当しないことから、第 1 種農地の不許可の例外「農業用施設」には該当しません。

そこで、申請地北側の既存の〇〇〇〇を拡張するかたちでの転用申請となっておりますので、資料 43 ㊦下に補足説明してありますとおり、拡張に係る部分の申請地の面積 1,885 m<sup>2</sup>が、既存施設の敷地面積 5,221 m<sup>2</sup>の 2 分の 1 を超えないため、第 1 種農地の不許可の例外である『既存施設の拡張』に区分されます。

また、除外後は、第 1 種農地に区分されるため、県常設審議委員会の意見聴取となります。

以上で補足説明を終わります。

議 長 只今、現地調査員の報告並びに事務局の補足説明のありました案件について審議をお願いします。

質問、御意見はございませんか。

委 員 「なし」の声あり

議 長 質問、御意見がありませんので、採決いたします。

議案第 57 号「農地法第 5 条許可申請に対する許可について」は、審議番号 1 番、3 番については、許可相当で県農業会議へ意見聴取することとし、その他の 1 件については申請どおり許可することに御異議ございませんか。

委 員 「異議なし」の声あり

議 長 異議なしと認めます。

よって議案第 57 号については、審議番号 1 番、3 番については、許可相当で県農業会議へ意見聴取することとし、その他の 1 件については申請どおり許可することに決定いたします。

議 長 次に、資料 46 ㊦の日程第 8 議案第 58 号「農地中間管理事業に係る農用地利用集積等促進計画に対する意見決定について」を議題といたします。事務局に提案説明を求めます。

農 地 係 資料は 47 ㊦からになります。

今回の契約開始は R7. 12. 1 開始分となっています。

利用権を設定する者は、鹿児島市の〇〇〇〇さん、設定を受ける者は、同じく鹿児島市の〇〇〇〇さん ほかです。

設定面積は、田 4 筆 7,060 m<sup>2</sup>、畑 220 筆 362,146 m<sup>2</sup>の合計 224 筆 369,206 m<sup>2</sup>で、穎娃地域 121 件、知覧地域 81 件、川辺地域 22 件となっております。

なお、57 ㊦の〇～〇番については、機構管理となっていたましたが、今回、新たな 2 耕作者により、前契約を引き継ぐ形で契約しようとするため、存続期間は、前契約の残りの期間となっております。

今回の 12 月 1 日開始分 224 筆のうち、内訳として、新規分が 61 筆、前回は基盤法での貸し借りだった分が 153 筆、前回は農地バンクでの貸し借りだった分が 10 筆として、表の一番右列の前契約情報及び 57 ㊦に表示してあります。

以上、すべての案件につきまして、その農用地のすべてにおいて耕作又は

養畜の事業を行い、また事業に必要な農作業に常時従事し、その土地を効率的に利用することが認められ、併せて当該土地に権利を有する者のすべての同意が得られていることを確認しております。

以上で説明を終わります。

議長 只今、説明のありました案件について、審議をお願いいたしますが、〇〇委員が〇番から〇番、〇〇委員が〇番から〇番、〇〇委員が〇番から〇番について議事参与の制限に該当しますので、まず該当者のいない案件について、全委員で審議いたします。

質問、御意見はございませんか。

委員 「異議なし」の声あり

議長 質問、御意見がありませんので採決いたします。

議案第 58 号「農地中間管理事業に係る農用地利用集積等促進計画」に係る案件のうち、議事参与の制限に該当しない案件については、申請どおり適当意見とすることに御異議ございませんか。

委員 「異議なし」の声あり

議長 異議なしと認めます。

よって、議案第 58 号に係る案件のうち、議事参与の制限に該当しない案件について、申請どおり適当意見とすることに決定しました。

議長 引き続き、議案第 58 号のうち、議事参与の制限に該当する案件について審議を行います。

関係委員にお諮りします。議事の進行上、議事参与の制限に該当する案件については、一括して議事を進行したいところであります。

御異議ございませんか。

委員 「なし」の声あり

議長 それでは、関係委員の退室を求めます。

(退 室)

議長 これより、質疑を行います。質問、御意見はございませんか。

委員 「なし」の声あり

議長 質問、御意見がありませんので、採決いたします。

議案第 58 号のうち、議事参与の制限に該当する案件については、申請どおり適当意見とすることに御異議ございませんか。

委員 「異議なし」の声あり

議長 異議なしと認めます。

よって、議案第 58 号のうち、議事参与の制限に該当する案件については申請どおり適当意見とすることに決定いたします。関係委員の入室を許可いたします。

(入 室)

議長 関係委員に報告いたします。

議案第 58 号のうち、議事参与の制限に該当する案件については申請どお



り適当意見とすることに決定されました。

議 長

次に、資料 58 頁の日程第 9 議案第 59 号「非農地証明願について」を議題といたします。現地調査員の報告を求めます。〇〇委員お願いします。

〇番委員

報告いたします。

59 頁の審議番号 1 番です。関連資料は 61 頁から 63 頁になります。

申請人は、指宿市の〇〇〇〇さんです。申請地は、穎娃町〇〇字〇〇〇〇〇〇番の畑 他 1 筆の計 256 m<sup>2</sup>で〇〇自治会に位置します。

昭和〇年代ごろまでは申請人の〇〇が耕作していましたが、昭和〇年代には耕作しなくなり、杉などを植え山林化しました。現在は特に管理されていない状況です。

農地への復元は著しく困難であり、今後も農地として利用する見込みはないと判断しました。

以上で報告を終わります。

議 長

次に、〇〇委員お願いします。

〇番委員

報告いたします。

59 頁の審議番号 2 番です。関連資料は 64 頁から 66 頁になります。

申請人は、知覧町〇〇の〇〇〇〇さんです。申請地は、知覧町〇〇字〇〇〇〇〇〇番の畑 2,285 m<sup>2</sup>で〇〇近くに位置します。

申請人の〇〇が、杉やヒノキの苗を栽培していました。申請地は、その前所有者がすでに杉山にしていたため、父が杉の穂を取って苗にするため購入したとのことです。〇〇が平成〇年に他界するまでは管理していましたが、その後は管理がされていない状況です。

農地への復元は著しく困難であり、今後も農地として利用する見込みはないと判断しました。

続きまして、60 頁の審議番号 3 番です。関連資料は 67 頁から 72 頁になります。

申請人は、川辺町〇〇の〇〇〇〇さんです。申請地は、川辺町〇〇字〇〇〇〇〇〇番の田 他 6 筆の計 6,083 m<sup>2</sup>で〇〇近くと〇〇自治会近くに位置します。

申請人及びその〇〇が昭和〇年、昭和〇年に所有権移転により農地を取得し、その後昭和〇年に農地法第 4 条の許可を得ずに杉を植林しました。現在は山林として管理している状況です。

農地への復元は著しく困難であり、今後も農地として利用する見込みはないと判断しました。

以上で報告を終わります。

議 長

ここで、事務局に補足がありましたら説明を求めます。

農 地 係

補足説明いたします。

非農地判断につきましては、市の非農地に係る取扱の規定に基づきまして、山林については植林後及び自然的条件で樹木が繁茂してからの経過年

数を考慮した上で、農地への復元は著しく困難であるとともに今後も継続して農地として利用する見込みはないと判断したところでございます。

以上で補足説明を終わります。

議 長 只今、現地調査員の報告並びに事務局の補足説明のありました案件について審議をお願いします。

質問、御意見はございませんか。

委 員 「なし」の声あり

議 長 質問、御意見がありませんので、採決いたします。

議案第 59 号「非農地証明願について」は、申請理由からしてやむを得ないものとして、申請どおり証明書を交付することに御異議ございませんか。

委 員 「異議なし」の声あり

議 長 異議なしと認めます。よって議案第 59 号については、申請どおり証明書を交付することに決定いたします。

議 長 次に、日程第 10「その他」でございますが、委員の方々から何かございませんか。

○番委員 農地利用状況調査で期間延長について

○番委員 タブレットの有効活用について

○番委員 委員活動及び利用権設定について

議 長 他にないですか。

委 員 「なし」の声あり

議 長 ないようでございますが、事務局は何かありませんか。

事務局長 今後の日程について連絡

議 長 その他にありませんか。

委 員 「なし」の声あり

議 長 ないようでございますので、以上で本日の総会に付議されました全案件の審議は終了いたしました。

これをもちまして本日の会議を閉じ、併せて令和 7 年第 9 回南九州市農業委員会総会を閉会いたします。御起立願います。

事務局長 「一同礼」

閉 会 午後 3 時 5 分

南九州市農業委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により署名する。

南九州市農業委員会議長

会議録署名委員 3 番

会議録署名委員 4 番